

いきいき通信

vol,21

発行：左京西部いきいき市民活動センター
発行日：2016年9月1日

当施設をはじめ、左京区各地で活動を行っている、子ども会・少年団を育てる左京センター。その活動の一環であるサマーキャンプに、当センターの職員が同行してきました。今回はその特集です。



→三日目の夜のキャンプファイヤー



→キャンプ場を去る直前の少年団のみなさん。楽しそうな雰囲気が伝わってきます。

みなさんは、少年団と聞いてどんな団体を想像されるでしょうか？今回は、当施設で会議などをされている、子ども会・少年団を育てる左京センター（以下、少年団）の一年で一番大きい行事である、第21回左京あおぞらキャンプに出張取材をして来ました。

左京区には5つの少年団が存在し、子供達は自分の住んでいるところに近い場所のそれぞれの団に所属します。そして、週に一回集まって、主にみんなで遊んだり、お喋りをしたりといった活動をしています。

少年団の主役は義務教育下の小、中学生ですが、その上に高校生の準指導員、大学生の指導員たちがいます。他にOB・OG、父母会もあります。

キャンプに参加してみようと思ったのは、みんながみんなのことを本当によく見ていて、大きな家族のようなものなのだなどというところでした。そして、その家族がみんな楽しんでいこうととても大切にされています。輪に入れていない子を巻き込んだり、話を聞いたりする姿を何度も見かけました。

少し話は変わりますが、今の世の中、大

抵のことは、ネットを開けば調べることが出来ませんが、少年団のような、人との中で、肌で学ぶ機会がどんどん減っているように感じます。社会の中で状況を開く時に、他人がどういう行動をするのか、といったことを肌で学んだ経験というのは、とても得難いものとして残ると思います。

少年団では、自分で考えるということも大切にされていて、キャンプも、もちろん子供たちが自分で考え、自分たちで作上げた企画で構成されています。朝、ラジオ体操をする時、それすら楽しむのが少年団。ちらっと朝の会議をのぞいたら、手をつないだままラジオ体操しよう

と云っていて、流石にそれはふざけているだけだと思っていたら、実際に実行している。でも、その工夫もあって楽しそうだし、意欲的にラジオ体操をしている。これはあくまで一例ですが、少年団の精神が少し垣間見える部分だなと感じました。

キャンプが終わり、出村式（終わりの会）になって、みんながお互いに色々喋るのですが、みんな笑ったり泣いたり大忙しです。少年団のキャンプは、ただ楽しみを



子ども会・少年団を育てる左京センター

お問い合わせ：子ども会・少年団を育てる左京センター事務局
075-752-2190（石田）
e-mail sakyokodomo@kyoto.zaq.ne.jp
url <http://www.kyoto.zaq.ne.jp/sakyokodomo/>

今号の
IKIIKI GROUP

享受するだけのキャンプではなく、作りあげる要素も大きいので、上手く出来たこと、出来なかったこと、楽しかったこと、難しかったこと、色んなものが胸に行き交うのでしょう。色々ためていた子が、指導員の人に「お前にしか出れない村役員（子供たちのリーダー的存在）やったでー」と言われ、思わず感情が溢れ出して泣き出した姿は本当に感動的で、こちらまで泣きそうになりました。

「子供たちが今、どんどん忙しくなる中で、じっくり何かに取り組みきっかけになればいいと思っている。」と団体の前事務局長の石田さんは仰っていました。大きな家族のような地域のつながりの中で育った少年少女たちが、これからどういう大人になるのか、期待大です！

SAKYO WEST PROJECT

左京西部いきいき市民活動センターでは「地域と人をつなぐ」をテーマにいくつかの事業を行っています。
今号では、秋から冬にかけて開催予定の事業を紹介しています。

イラスト 脇田友

OSANPO

→ 枳形商店街の人々



← 船岡山からの風景

日常には音が溢れています。雨音、車や電車の動く音、人の話し声、動物の鳴き声、あげはじめるとキリがありません。ただ、部屋の中にいたりすると、ある程度遮断された空間のため、音の種類は限られます。そして、外に出ても、イヤホンで音楽を聴いたり、必要のないと判断する音には注意を向けていなかったりと、自ら限られた音環境を選びとることがよくあります。今回の北・西部いきセンの「耳をすまして京さんぽ～歩いて感じる音環境～」はそんな限られた音環境ではない、広い範囲の音を、お散歩を通して参加者に感じてもらい、それを共有しようという試みです。音を感じる感覚、つまり聴覚は、人によっても千差万別です。音は、周波数や、波長のような数字で分類できても、その音をどう感じるのか、という部分は、他の感覚と同様、人によって全く異なります。ある種の音と、幸せな思い出がセットになっていると、その音は

その人にとって、良いものとして感じられることでしょう。逆に同じ音に対して、とても不快な思いを感じる人もいるかも知れません。音に対する自分の感覚と向き合っていたら、他の人との感じ方の違いなどを共有し、楽しんでいただけるのもこの企画の魅力と想っております。日頃、何気なく感じている「音」というものに、新しく出会う機会になっていただければと思います。

■おさんぽコレクション 北・左京西部編

日時：11/19(土) 14時～17時 / 集合は10分前 *小雨決行、荒天順延(11/20)
コース：北いきセン→船岡山→千本北大路(バス停)～河原町今出川(バス停)→出町柳 枳形商店街→左京西部いきセン
持ち物：バス代(230円)
申込：9/21(水)から受付開始。定員(15名)に達し次第終了

丸木 伸洋

新しい音楽に触れる時のワクワク感が大好きです。音に対する興味から、今回のお散歩事業には力を入れています!皆さんが楽しめる企画になるよう精一杯努力したいと思っております◎

SENIOR



↑ 初年度に開催した「私のモノがたり展」の時に開催した異世代交流茶話会の風景です。今回も異世代が語らえるような企画を目指します。

異世代間交流を目的とした、思い出のお話の聞き取り事業の計画を進めています。これまで思い出のお話をうかがうのに「食べ物」「場所」といったテーマを設定してきました。今回は「戦争」ではどうかと話し合っています。「食べ物」であれば戦時中の食糧難、「場所」であれば防空壕や満州というように、どんなテーマであれ戦争のお話はこれまでも語られました。「戦争」というテーマは少し取り扱うのに注意を要します。しかし戦争を遠く感じる今だからこそ、このテーマをとりあげることに意味があるのではないかと考えます。例えば私の実家は広島で、先日ちょっとしたきっかけで父から、祖母の原爆の時の話を聞きました。それは父の中に秘められていた「戦争」に対する思いに私が初めてふれ

た瞬間で、私にとって遠かったはずの「戦争」が急に目の前に近づいた瞬間でもありました。

もちろん私は戦争を体験していないので、その状況を我が事のように想像するのは難しいです。しかし壮絶な話を淡々と語られる語り口や居ずまいからたくさんのお話を聞きます。これまでの展示会でもその方から感じたものを少しでもうまく伝えられればと苦心してきました。もしかすると、実際に出会ってお話を伺うのが一番なのかもしれません。今回はお話を語る方だけでなく、お話を聞き取る方も募集したいと考えています。展示開始を2月ごろと見定めて、丁寧に準備を進めていきたいと思っております。ご期待ください。

梶川 貴弘

開館当時から、シニア世代を対象とした企画を担当。演劇講座やシニアの方の思い出話の展示会など、シニア世代の魅力を引き出すイベントを企画・サポートしています。



◎その他のイベント／参加募集

詳しいお問い合わせは当センター(右記)までご連絡ください。

Workshop 50歳からはじめる演劇講座

日時：9月7日～10月19日(毎週水曜日)13時～15時

会場：左京西部いきいき市民活動センター 会議室

参加費：通し受講 7,000円/1日受講 1,000円 持ち物：筆記用具、動きやすい服装と靴

対象：50歳以上の方(経験不問) 募集定員：16名(先着順、6名以上で開講)

・9月5日(月)16時までに電話でお申し込みください。



京都市左京西部
いきいき市民活動センター

市民活動を活性化するための事業運営・市民活動に関する相談・施設の貸出しをおこなっています。

- 会議室1～5・和室の施設貸出し(1時間：100円)
- コピー機の利用受付(カラー：20円/モノクロ：10円)
- 市民活動に関する相談
- 市民活動に関する情報公開
- 貸しロッカー(800円/月)

左京西部いきいき市民活動センター

京都市左京区田中玄京町149
TEL：075-791-1836/FAX：075-712-0138
MAIL：info@sw-ikiiki.com
開館時間：10時～21時(日曜は17時まで)
休館日：火曜日・年末年始(12/29～1/4)

ACCESS

[電車] 京阪「出町柳」駅より徒歩7分
[バス] (京都駅から) 京都バス17号「御影橋」下車より徒歩5分(四条河原町から) 京都バス21号・41号「御影橋」下車より徒歩5分 / 京都市営バス3号・201号「出町柳」下車より徒歩7分 *専用の駐車場はございません。



左京区・南禅寺近くに位置する左京東部いきセンも当施設と同じくNPO劇研が運営しています。ここでは、この秋開催される東部いきセンの楽しいイベントをお知らせします。

Event おさんぽコレクション 錦林・醍醐編

日時：10月15日(土)10時30分～15時(集合は10時) ※荒天時は翌日に延期

集合場所：左京東部いきいき市民活動センター(左京区鹿ヶ谷高岸町3-2)

解散場所：醍醐いきいき市民活動センター(伏見区醍醐外山街道町21-21)

持ち物：交通費(地下鉄代)、昼食 定員：20名

申し込み：9月15日から受付開始 お問い合わせ：075-761-1385(左京東部いきセン)

Event まちの思い出展示会

日時：11月5日(土)～20日(日) 会場：左京東部いきいき市民活動センター エントランス

参加費：無料

昨年に続き、今年も地域のシニア世代の思い出話をまとめて展示します。